

5月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和7年5月21日(水) 14時55分～16時20分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教 育 長：松尾教育長
教育委員：大庭教育長職務代理者、竹内委員、松尾委員、落合委員
事 務 局：古賀こども教育部長、野口こども教育部理事、真崎教育総務課長、緒方こども未来課長、福田学校教育課長、武富多様な学び支援室長、富岡学校教育課参事、石橋新しい学校づくり課長、林新しい学校づくり課教育監、井手生涯学習課長、宮原文化課長、井手新文化交流拠点整備室長、溝上図書館・歴史資料館長、杉原教育総務課長代理
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【竹内委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 令和7年4月定例教育委員会会議録
- 8 (1)教育長の報告
 - 1 はじめに
 - ・運動会、体育大会 5/18(済)：武雄北中、川登中、北方中 5/24：武雄青陵中
 - ・ 5/25：武雄小、御船が丘小、朝日小、北方小
 - ・雄武町児童交流団が今週決定(6/22開校式) ・学校訪問がスタート
 - 2 教育委員の研修関係
 - (1)市町教育委員会連合会定期総会研修会(7/1 受付13:30 開会14:00グランデはがくれ)
講演：溝上良雄「南海トラフ巨大地震の佐賀県への影響、地震と大雨時の災害、対応」
 - (2)第15回九州地区市町村教育委員会研修大会(2年に1度開催、前回のR5は佐賀市開催)
開催日：R7.8.21(木)研修大会(シーハット大村)・情報交換会(パークベルズ大村)
R7.8.22(金)視察研修(A：大村コース B：諫早コース)
※研修大会、情報交換会、視察研修への参加の有無(6月中旬)及び移動手段等の決定
 - (3)市町村教育委員会研究協議会(文部科学省初中局関係)
前期：第1回6月26日(木)オンライン ※前期の申込期限は5/23(金)
後期：第4回11月28日(金)対面(岡山市)：第5回令和8年1月16日(金)
- 3 令和7年度5.1統計(カッコ内は令和6年5月1日現在との比較)
小学校：通常実学級103(±0) ・特支学級48(+3) 計151(+3) 児童数2,527人(－5)
中学校：通常実学級 36(±0) ・特支学級19(+2) 計 55(+2) 生徒数1,184人(－37)

※学年別内訳

計3,711人(－41)

小1(433) 小2(405) 小3(422) 小4(439) 小5(411) 小6(417) うち特支196(±0)
中1(384) 中2(407) 中3(393) うち特支82(+4) 中割合6.93% 小割合7.76%

4 その他

- ・市連P定期総会 5/23(金)19:00～ 八百重
- ・杵武地区中体連:6/21～6/22(土日)バレーボール・剣道 6/28～6/29(土日)
- ・令和7年度全国中学校体育大会(第47回全国中学校軟式野球大会)8/18、19ひぜしん
- ・令和8年度教員採用選考試験受験申込状況 ※()内は前年度同時期の倍率(資①)
小学校0.9(1.3) 中学校1.3(1.5) 高等学校) 養護教諭12.5(11.2)
一次試験6/15(日) 合発予7/4(金) 二次試験7/26～7/29(土～火) 合発予9/5(金)
- ・義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)の一部改正案(資②)

9 議 事【公開】

(1) 提出議案

第4号議案 武雄市立小中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則

第5号議案 武雄市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則

第6号議案 武雄市放課後児童クラブ施設整備費補助金交付要綱

(2) 報告事項

- ①自治公民館長の委嘱について
- ②武雄市子育て総合支援センター協議会委員の委嘱について
- ③武雄市学校教育ビジョンについて
- ④図書館の選書について
- ⑤各課からの行事報告

10 議 事【非公開】

(1) 提出議案

第7号議案 武雄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び武雄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(2) 協議事項

- ①令和7年6月議会提出「教育に関する報告」について
- ②地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見の聴取
(令和7年6月補正予算)

11 次回開催日程について

12 その他

13 閉会

午後2時55分 開会

○教育長職務代理者

皆さんこんにちは。時間はちょっと早いようですが、皆さんおそろい입니다。

5月、本来であれば新緑ということで、外の緑がきれいかとは思いますが、今日はあいにくの雨になりました。

それでは、新しいメンバーも含めまして、5月の定例教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

レジュメに沿ってまいりたいと思います。

まず、議事録署名人の指名ということで、5月はC委員になっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、前回会議録の承認ということで、4月の会議録については事前にお渡ししておりましたが、教育委員さん、また執行部の皆さんのほうから、修正等含めて何かございましたら、挙手の上、御発言をお願いいたします〔「なし」と声あり〕。

特別にないようですので、承認を取ってまいります。

4月の定例教育委員会の会議録を承認される教育委員さんは挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございます。承認されましたので、次に参ります。

4番、教育長の報告。別紙のほうでの御説明、教育長さんよろしくお願いいたします。

○教育長

その前に、いつものとおり、公開、非公開の議決をしたいと思います。

○教育長職務代理者

すみません。

○教育長

表紙の後ろのレジュメを見ていただきたいですが、真ん中ほどに、議事【非公開】提出議案が1つ、そして協議事項が2つということで、非公開で上げさせていただいております。この理由としては公にできないものということで非公開にさせていただきたいと思いますが、それに賛成いただく委員さんは挙手をお願いします〔賛成者挙手〕。

では、全員了解いただきましたので、6番の議事については、非公開で議事を進めていきいと思っております。

では、引き続き私の報告ということで、別紙のA4、1枚について説明いたします。

今日は、ここで説明しますが、具体的にどう委員さん方に行っていただくか、欠席なのかとを、この会議の終わり次第、下のほうで協議をして決定したいと思いますので、ここでは簡単に説明していきいと思っています。

まず、体育大会の件ですが、先週の日曜日、3校で行われました。24日が武雄青陵中、そして25日が武雄小、御船が丘小、朝日小、北方小ということで、春の運動会がこの8校で行われますが、24日、25日も、この前の日曜日にも心配しましたが、ちょっと雨模様の天気になっていますが、無事に行われることを期待しておきたいと思います。

雄武町の交流団ですけれども、まだ最終的に決定しておりませんが、ほぼ出そろっています。1か月後の6月22日に開校式でスタートを切っていきたいと思っています。

学校訪問が今月の27日から、スタートいたします。この学校訪問も、事務所訪問についてはどの学校に行っていただくが決まっておりますが、市教委訪問の分担や雄武町との交流についても決めていただくことがありますので、終わり次第、教育長室でと考えています。

では、教育委員さん方の研修関係の日程がほぼ決定してきましたので、これも内容だけをここで説明します。

まず、一番身近なものからです。7月1日に佐賀県の市町村教育委員会連合会の研修会総会と研修会がグランドはがくれで行われます。去年がグループ討議ということで進めてまいりましたけれども、今年は講演ということで、溝上良雄さんというSTSのテレビにも出ていらっしゃる元佐賀地方気象台の台長をされていたということで、地震のこと、あるいは大雨災害のことで話があるということが決定しているようです。これについても出欠について確認していきます。

2番目が、九州地区市町村教育委員会研修大会ということで、この研修会は2年に1回開かれて、前回の令和5年は佐賀市で開催されたもので、前から言っておりましたけれども、8月21日に大村のシーハットで研修大会、そして情報交換会がすぐ近くで開かれるとなっています。2日目は視察研修ということになっています。これについても、この後、行き方とか、そういったものを含めて協議をさせていただきます。

そして、今度は文科省が主催する市町村教育委員会研究協議会、これは前期と後期と大きく2つに分かれて、参加できるのは前期で1回、後期で1回参加できる研修会です。

前期は、6月26日木曜日にオンラインで開かれます。

後期は10月以降ですけれども、対面で11月28日、今年は中国、四国と聞いておりまして、岡山市で開かれることに決定したそうです。これが昨年、福岡であった大会と同じ大会になります。

そして、遠いので行けないということだったら、オンラインで1月にあるということで、第4回、第5回と2回ありますけれども、どちらか1回だけということで、去年は福岡に行きましたが、もう1年前はオンラインでした。課題に応じて、2回グループ協議をするということで、今年もそのやり方は変わらないようです。そのグループ協議等については後ほどしますが、この後期については、提出期限は10月ということですので、今日は決める必要はございません。

今年度の学校の数、児童・生徒数の数とか学級数が5月1日現在で確定するというところで5.1統計と呼ばれていますが、これでほぼ確定をいたしました。小・中学校合わせて3,711人、前年度よりも41人の減という状況になってきました。

特別支援学級の子どもさんは196人で全体の7.76%になります。そして、中学校は小学校から大体50人ぐらい引いて、県立中学校とか私立中学校に行きますので、52人ぐらい抜けてそういう形になっています。特別支援学級の生徒は82人で6.93%ということで、子ども全体の数は減りながらも、特別支援学級の子どもは相変わらず増え続けていると。小学校で増えた分が、だんだん今度は進級して中学校が増えてくると、そういう傾向がこの後続いていくということです。

その他でございます。

出欠はされているかと思いますが、今週金曜日に市連Pの定期総会ということで、八百重で開かれます。

今年の地区の中体連は6月21日、22日と6月28、29の2日間に分かれて、これは会場の都合で、エアコンが効いたり、そういったことを考え、会場が重ならないように2回に分けて実施されます。県の中体連はいつものとおり7月十何日、夏休みに入る頃に開かれる予定になっています。

今年は本当に久しぶりですけれども、全国中学校体育大会、これは全国大会で全中と呼ばれますが、軟式野球大会がひげしんスタジアムで8月中旬に開かれます。1回戦と2回戦が武雄で開かれ、それ以上、準決勝、決勝は、さがみどりの森球場あたりで開かれるということで、全中が来るのは本当に珍しいことで、去年の国スポといい、全国レベルの試合が近くで開かれることになります。

教員採用試験、この前の土曜日の新聞の一面に、小学校倍率0.9倍ということで記事が載っておりましてけれども、1倍を切るということで、大変な状況になってきました。

そこに校種別を書いております。小学校は0.9倍、去年は1.3倍でした。中学校は1.3倍、去年は1.5倍ということで、括弧書きが去年の同じ時期ですね。この倍率は、だんだん減っていく傾向にあります。

中学校はどうか1.3倍ということで1倍を超えてはいますけれども、これは教科別に見ると、中学校社会と保健体育で稼いでいる。その2教科を抜いてきたら0.9倍。ほかの国語とか数学とか、それだけで倍率を出すと0.9倍ということで、非常に厳しい状況です。

1次試験は6月15日に開かれることになります。

別の資料がありますでしょうか。

どこの県でも、希望が少ないということで、鹿児島県はいよいよ対策を講じて、鹿児島県の「かごしまの先生」の魅力発信に向けてと、こういった委員会を立ち上げて先生の魅力を伝えていくということで、委員会を立ち上げたから人数が増えることはないかと思いますけ

れども、こういうことで動き出しています。

鹿児島県は佐賀県と違って、また離島がたくさんありますので、非常に厳しい状況もありますが、そういったことでいよいよ先生の取り合いが各県、取組をされているということです。

それと、昨日ぐらいから、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法、いわゆる給特法と呼ばれるものは、先週の衆議院本会議を通過しまして、今、参議院で審議をされる段階になってまいりました。そこに、自民党が出した案に野党が修正をかけ、それが衆議院を今通過して参議院で審議されているということで、4%の教職調整額を1%ずつ上げていくことが主ですが、それ以外に時間外勤務を月30時間ぐらいに減らしなさいと。今、中学校は50時間とか60時間ぐらいしていますが、平均30時間程度に削減するということを目指にするということを言っています。

この目標を達成するためには、やっぱり先生の数を増やさないと、持ち時間とか、そういったことでありますので、それだけではなく、35人学級を実現しなさいとか、いろいろ附帯決議を決めて、お金だけでなく条件を整備しなさいということで載っています。最後に日本教育新聞に、給特法の改正に向けて学識者の意見を述べられているという記事が載っています。

そういったことで、いろいろ対策をされていますが、教員のなり手が不足しているということは、また別の大きな問題も、そこを解決しないと難しいのかなと感じているところです。

最後です。何も文字を起こしておりませんが、この教育委員会は、今、資料を作って紙に印刷してもらっていますが、うちの事務局は全部パソコンがあってペーパーレスでしておりますが、そのペーパーレスでこの会議を進めていこうということで進めています。

目標としては10月ぐらいから試行的にペーパーレスで進めて、来年の1月から本格的にペーパーレスということで、早くからできればいいですけども、そういったことで準備を進めています。10月ですから、まだあと何か月かありますので、それまではペーパーで行きますが、10月ぐらいから取り組んでいきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思います。

今、校長会、教頭会、教務主任会は全てペーパーレスで昨年から進めています。なかなか慣れない人もいらっしゃると思いますが、そういうことで教育委員会も変えていきたいということで、世の中がそういう流れでありますので、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。教育長さんから別紙を通して報告をいただきましたが、皆さんから御質問なり補足なり含めて、何かございませんでしょうか。

司会をしながらですが、今、教育長の最後の鹿児島県の資料等を見せていただいて、教職

員の魅力ということで、この中には教職員経験者多くはございませんが、同じ公務員として、やっぱり危機を感じる一人でもあるわけですが、いろんな会合で、教育学部をお持ちの大学の先生方が言われるのは、多分、教職を目指した者は一緒だと思いますが、小学生、中学生、高校時代に先生を見てると、非常に魅力のある先生方と出会って教職員の魅力というのを感じてきたわけで、大学教育学部を目指しているんでしょうけど、大学に行って2年、3年となると、その保護者の言葉なのか、実際、教育実習等に行って実際の現場を見ての言葉なのか、今のマスコミの情報から、ブラック企業的なことを言われつつあるので、それが影響なのか、3年生、4年生になったら教職を、もう教員にはならないと言う人が非常に多いというのを大学の先生がよく言われます。

地方公務員で市の行政の皆さんも、もちろん、多くの魅力のある行政ということで御努力されていると思いますが、ぜひ今後は、子どもたちはそれなりの魅力は感じて成長しますが、そこに関わる大人が、何となくやっぱり教職員は大変な仕事だよとか、今いろんな事件もあっているので、なかなか難しいですが、お子様をお持ちの方とか、教職を目指したいという子どもがいるときに、教職の魅力を、ここの場の皆さんはPRをしていただいて、将来の教育を、日本を背負って立つ子どもたちを育てるための教員をぜひ、教育長さんの言葉も痛いほど感じましたが、司会、議長もしながら、経験者として、強く感じたところですので、一緒にお考えいただければありがたいなと思ったところです。

ほかに教育委員さんからでもよろしいですが、C委員さん。

OC委員

私も新聞記事を見まして、まさに小学校の教員0.9ということでびっくりしましたがけれども、今後、来年度どうなるんだろうなという心配と、もう一つ思ったのは、今年、現状、武雄市の教職員の配置といいますか、その分は、予定のとおり全部埋まっているのかどうか、この状況でいけば、まだ足りていないところがあるのじゃないかとちょっと心配したものですから、どうなのかなと思っていますが。

○教育長職務代理者

学校教育課長さん。

○学校教育課長

令和7年度5月1日現在の未配置は、小学校で6、中学校で3、欠員補充まで含めてとなっております。

今現在は、令和7年度はまずは担任の配置をきちんとするというところでして、加配教員、そういったところを、今は枠はあるけどなかなか配置ができない状況にもあります。これから産前休暇とかにずっと入っていきますので、そこに常勤講師を含めて、常勤でないところは非常勤、級外の場合は非常勤講師も含めて講師を探して任用しているところです。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。実情は、まだ加配教員等々が補充されていないと。はい、どうぞ。

○C委員

担任は埋まっているということですか。

○学校教育課長

今現在、担任は埋まっていますけれども、その担任が今後産休に入る方もいらっしゃいますので、まずは、担任へ配置するのを最優先に講師を探しているところです。

○教育長職務代理者

ほかに。教育長さん。

○教育長

昨年まではどうにか入っていたんですが、今年は急に難しい状況になっているのは、我々は60歳定年でしたけれども、そこからしばらく講師をしていただいて、そして65歳になった方がいっぱいいらっしゃって、そこでもう、昔から、以前から65歳になったら一線を引こうという人が、たまたま今年集中してきたと。

2つ目は、男性の育休というのが一般的になってきて、結構、男性が二か月とか、三か月取らせないといけないという世の中になって、二、三か月の講師というのがなかなか見つからないということ。

そして、いつも言っていますが、特別支援学級が増えてきましたので、そこに子どもが一人いれば教員を一人当てないといけないわけですね、クラスが1つできれば、これでもまた教員不足に拍車がかかっていると。この傾向が止まるのかどうかですね、人がいない中で。そういう見通しで、こういう0.9倍とか、採用の時点で先生が足りないという状況ですので、どこから手をつけていいのか。そういう状況は今から続いてくるのかなと思っています。武雄市だけじゃなくて、これは県全体、国全体の大きな課題だろうなと思っています。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。委員さんいいですか。

○C委員

学校教育課長さんは人を探すの大変だろうなと思います。電話をかけて人を探してということが続いているだろうなと思いますが。

来年度も0.9ということであれば、さらに減る可能性もあるので、厳しい状況だなと思いました。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

教育長さんの報告、ほかにございませんでしょうか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、先に続けて、その他という項も最後にありますので、何かありましたら、そのときをお願いいたします。

それでは、5番、議事の公開。議事のほうに入ってまいります。

(1)の提出議案として、第4号、第5号、第6号とありますので、ページを確認しながらやってまいります。

まず、2ページ、第4号議案 武雄市立小中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則ということでございますが、こちらを学校教育課長さん、お願いします。

○学校教育課長

第4号議案 武雄市立小中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について御説明いたします。

平成30年より夏休みの一部を別日に移して、大人と子どもが一緒に過ごす機会を創出するために、キッズウィークへの取組が国により進められてきました。武雄市でも、家族と一緒に過ごし、地域のイベント等に参加することで家族の絆を深め、地域愛を育むことを目的として、平成30年10月にキッズウィークが始まりました。

武雄市立小中学校を対象に、平成30年より、10月の第2月曜日の前の週の金曜日を家庭及び地域における体験的な学習活動、その他の学習活動のための休業日としてきました。

昨年、令和6年は国スポが開催されましたので、キッズウィークは中止となり、今年のキッズウィークへの取組が検討された結果、家族の絆を深め、地域愛を育むことについて一定の成果を収めたとして、令和7年よりキッズウィークは廃止となりました。

これを受けて、武雄市立小中学校の管理に関する規則第5章、第33条第1項第5号「家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日10月の第2月曜日の前の週の金曜日」を削除するものです。

なお、施行日は令和7年6月1日となります。

説明については以上です。

○教育長職務代理者

詳しく説明いただきました。

この件に関しまして、何か御質問等はありませんでしょうか。これまでの取組で保護者さんたちの立場としては意義あり、問題とか、いろいろこれまでずっと出てきた経緯はございますので、こういう決定の方向で進んでいるわけですが、何か——よろしいですか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、承認を取ってまいります。提出議案第4号議案 武雄市立小中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則に賛成する教育委員さんは挙手をお願いします〔賛成者挙手〕。

全員賛成ということで手続を進めてください。

それでは3ページ、第5号議案 武雄市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則が出ております。提案者はどちらになりますか。学校教育課参事さん。

○学校教育課参事

それでは説明します。

第5号議案 武雄市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について説明いたします。今回の改正は、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係規則を改正するものです。改正内容ですが、本文第25条第3項第2号にある「禁固」を「拘禁刑」に修正するものです。

規則の改正日は、法改正の施行期日と同じ令和7年6月1日としております。

説明については以上です。

○教育長職務代理者

以上、説明でございました。

昔、ALTと言っていた招致事業でございますが、何か御質問ございませんか。

これは国のJETのプログラムであっても民間からの任用で、武雄市は多分数名ずつ分かれていますと思いますが、それは全て国の関係規則改正によるものということで、それは共有しているんですか、お願いします。

○学校教育課参事

武雄市が雇用している任用者にのみ適用されます。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

よろしいですかね〔「なし」と声あり〕。

では、承認を取ってまいります。第5号議案 武雄市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則に賛成する教育委員さんは挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございます。全員賛成ということで手続をよろしくお願いします。

それでは、次に行きます。

第6号議案 武雄市放課後児童クラブ施設整備費補助金交付要綱（案）についての説明をお願いいたします。緒方こども未来課長さん。

○こども未来課長

第6号議案 武雄市放課後児童クラブ施設整備費補助金交付要綱（案）について説明いたします。

まず、この交付要綱につきましては新規になります。

提案理由としましては、現在、武雄市内全11小学校に放課後児童クラブ、13児童クラブを設置しまして、放課後の安全・安心な子どもの居場所として運営を行っております。

ただ、大規模校、特に御船が丘小学校や朝日小学校においては毎年待機児童が発生してい

る状況にあります。現状、その学校では余裕教室もなく、学校敷地内に新たに児童クラブを設置する場所もない状況になっております。武雄市教育委員会のみでの取組では待機児童の解消は難しく、社会福祉法人等の事業参加が必要不可欠と考えております。

今回、社会福祉法人等による放課後児童クラブの整備を促進するために新規補助金交付要綱を策定するものです。

まず、補助金の内容につきましては、第1条で放課後児童クラブの整備を行う社会福祉法人等に対しまして、整備費に対する補助金を交付するとしております。

対象となる整備区分と整備内容につきましては、第3条で創設、新たに施設整備をするもの、既存の施設の改築、それと拡張、既存の施設の延べ床面積が増加するような拡張、あと大規模修繕、それと応急仮設施設整備、こちらは長期間継続する災害等により必要と認められる対応、応急施設の整備を行うという5つの整備を対象としております。

交付対象者は第4条で社会福祉法人、学校法人等の各種法人と、その他市長が適当と認める法人としております。

補助金額につきましては、第6条のところで算定額の3分の2としまして、待機児童解消のための児童クラブの整備の場合につきましては4分の3としております。

整備区分ごとの基準額につきましては、7ページの別表に定めております。

施行は公布日からとしまして、令和7年度の補助金から適用するような内容になっております。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

提案理由等も6ページのほうに上げていただきながら、条項の説明まで加えていただきましてけれども、何かこの施設整備費の補助金交付要綱について御質問等ございませんか。

事情が事情ということもあるんでしょうけど。A委員さん、どうぞ。

○A委員

各社会福祉法人等も今から子どもたちが少なくなっていく中で、やっぱり地域の子育て支援事業に取り組んでいかないといけないという状況が差し迫ってきていますので、こういうふうに補助金を創設していただくと、放課後児童クラブへの事業の参入とかも敷居が低くなりますので、本当に大変ありがたい補助事業と思っております。ありがとうございます。

○教育長職務代理者

今後こういうことは起こり続けるのかも分かりませんので、こういう充実の事業については大いに進めていただければと思います。

ほかに委員さんなければ承認を取りますが、よろしいですか〔「なし」と声あり〕。

それでは、第6号議案 武雄市放課後児童クラブ施設整備費補助金交付要綱（案）につい

て賛成される教育委員さんは挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございます。一応（案）はここで消すんですか。（案）を消していただけたらと思います。ありがとうございました。

それでは、報告事項に入ってまいります。

報告事項につきましては、先ほどの説明資料等の後に出てきています。

7 ページ、(2) の報告事項の①自治公民館長の委嘱について、②が武雄市子育て総合支援センター協議会委員の委嘱についてということではありますが、教育総務課長さん。

○教育総務課長

教育総務課案件、①、②についてまとめて御説明いたします。

①自治公民館長の委嘱についてです。資料は7 ページを御覧ください。

資料のとおり、武雄公民館より自治公民館長に4 名の方の推薦がありましたので、委嘱を行っておりますので、御報告いたします。

次に、②武雄市子育て総合支援センター協議会委員の委嘱について、資料は同じく7 ページを御覧ください。

各種団体より4 名の方の推薦をいただきましたので、委員として委嘱しております。

任期は令和7 年4 月1 日から令和8 年3 月31 日までの1 年間で4 名共に前任者の残任期間となります。

以上、報告いたします。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

①、②、両方併せて御説明いただきました。お名前等々は見えていただきまして、またお会いされるときには何かとお世話になるということでお声かけいただければありがたいと思います。

特別にここは承認事項ではないですので、先に進めていきます。

③武雄市学校教育ビジョンについて、新しい学校づくり課長さん。

○新しい学校づくり課長

昨年度の9 月議会で予算を計上しておりましたが、武雄市学校教育ビジョンを策定しましたので、御報告いたします。

資料は8 ページを御覧ください。

そちらに策定の目的を記載しておりますが、変化の激しい時代において一人一人の力を伸ばし、それぞれの幸せを自ら実現できるように武雄市はこれまでタブレット端末を活用した教育D X や、民間と連携した官民一体型学校、実践的な英語力を高める取組など全国に先駆けた、また武雄市ならではの教育を進めてまいりました。社会背景や取組の意義や目的を体系化し、子どもたちや学校に関わる全ての方々に理解を深めていただくために、このたび学

校教育ビジョンをまとめております。

これからも引き続きもっと子どもを真ん中にしながら、学校や地域での子どもたちの学びを進めるために、私たち大人一人一人が共にこれからの学校のことをしようとするきっかけになればと思っております。

時間の都合上、詳細の説明は省略いたしますが、手元にカラー刷りの20ページの本編と概要版を配付しております。御確認ください。

既に武雄市教育委員会ホームページのほうに掲載しております。

概要版については今月末、6月市報とともに全ての御家庭に配布する予定としております。また、様々な機会に配布、説明を行い、周知をしていきたいと考えております。

来月になりますが、市役所1階のホールにおいてパネル展示のほうも行いたいと思っております。多くの方々に御覧いただき、学校のことをぜひしていただきたいと思っております。

以上になります。

○教育長職務代理者

別紙にもいろいろ準備をしていただいておりますが、ショート、シンプルに説明がありましたが、いいですか。我々がしっかり勉強するということでいいのかな。何か非常に素晴らしい資料を出してもらっているのもう少し時間を取られてもいいかなと僕は思うんですけど。余りにもシンプルだなと思いながら、いいですか。

○新しい学校づくり課長

概要版だけですみません。表に「これからの学校のことをしよう」というキャッチコピーで作らせていただいております。開いていただいたこの面に、本題に入る前に「ひとりひとりをみつめて学校を次の時代へ進める」ということで、今、子どもたちを取り巻く環境についてまとめております。

左側の図を見ていただきますと、時代は大きく変わっておりまして、出生率が非常に下がってきております。それによって、これからも、より人口減少が進むものと思われれます。

また、教室の中にある多様性ということで、これは全国値になりますけれども、やはり子どもたち一人一人違っていいんだという考えを皆さんに持っていただければと思っております。

そういった中で、右側の将来を見たときに子どもたちが身につけていけないといけない力として、こういった主体性や論理的思考力等々、こういったものを載せております。

また一方で、ぜひ育んでいきたいものということで、自己肯定感や幸福感といった個々の幸せということも考えていけないといけないというのを載せております。

その上で開いていただきましたら、中身のほうに武雄市がこれからも進めていくための4つのビジョンと6つのプランということで掲載しております。こちらについてはそれぞれ御覧いただければと思います。

すみません、簡単ですが、以上になります。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

佐賀県の教育ビジョン以上に何か非常に分かりやすい、見やすいページでいいなと思うんですけど、ざらっと見ましたけど、ぱっと見て質問というのも出しにくいですが、A委員さん、どうぞ。

○A委員

最初に、今回の教育委員会の資料を頂いた時点でちょっと詳細を知りたくて検索させていただいていたんですけど、その時点ではまだポータルサイトに上がってなくて、昨日のお昼過ぎですか、アップされて、内容を拝見させていただきました。

今から武雄市が取り組んでいく教育について、非常に分かりやすく記載してあって、とても素晴らしいものではないかなと思っています。

内容の中でも、事業のミックスとか、そういう部分がちょっと出てきたんですが、そういった部分も今後の幼保小連携にも関わってくるような部分じゃないかなと思っていて、やはりこども園のときの子どもたちが下地として個別最適な学びとか協働的な学びを培っているんで、就学してすぐ1年生のときは、ちょっと個別最適な学びや協働的な学びに重きを置いて、進級とともに事業環境を踏まえて事業に取り組んでいって、関わっていければ、すごくいい形になるのではないかなと思っていたりします。

いずれにせよ、これが実現すれば、子どもたちにとって本当に学校が楽しい場所になるんじゃないかなと思っています。ありがとうございました。

○教育長職務代理者

ほかにございませんか。C委員さん。

○C委員

私も資料を頂いたときに「これからの学校の話しよう」というキャッチコピーが非常にいいなと思って見て、中身はまだ書いていなかったんで、今説明をちょっと聞いたんですけども、非常に興味深いことがいっぱい書いてあるなと思って、じゃ、それをどう具体的に落としていくかというのが一番の問題かなと思います。

「これからの学校の話しよう」ということなので、誰が話をするのかというのもちょっと気になるところで、そういったところも分かってくれば、子どもたちを真ん中に置いていろんな話が出てきて、いろんなアイデアが出てきていいのかなというふうに思いますし、個別最適な学びとか協働的な学びとかをつくるのはどういう空間がいいのかとか、いろんなことを、そういうこともこのデザインを見ていると非常にいいな、こういう学校とか教室になれば楽しいだろうなと思います。

まずはパネルを飾られるということでしたので、市役所の1階ホールだけでなく、例

えば、図書館とか、たくさんの人が見えられるところ辺りでもちょっとスペースがあれば、そういうのがあって、意見でも聴取できれば、何かいいアイデアが出てきたりするんじゃないかなと思いました。楽しみです。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。私も、今、A委員さん、C委員さんが言われたことと同じような感想になるかと思うんですけど、昨日幼稚園の理事会にちょっと参加して、先ほどの教育長さんの話じゃないですが、御船が丘小とか朝日小が子どもは多いけど、若木小なんかは6名しか1年生がいませんので、なかなかこれから先、学校の魅力を発信するというのは、学校の先生方であったり、我々教育委員会、教育委員の役目だろうと思う中で、先ほど教職員の魅力も含めてですが、やっぱりこういうものを具体的に今言われたようにやっていくこと、それが結局保護者さんたちが、育友会もそうかもしれませんが、最適な学びとか、協働的な学びとか、花まるタイムのこととか、どうかすると先生方もちょっと含まれるか分かりませんが、これは何なのとか、これでどれだけ力がついているのという疑問は疑問で思っている、それを我々がしっかり説明できていないところもあるかも分からないし、そういうところで保護者さんたちがすごいねって、そしたら、これがよその市町から武雄市内の学校に行きたいなと、そういうふうになってくれば、先生方ももっと張り切らないといけないし、子どもたちが武雄市の教育はすごいよねって、これはやっぱり絵に描いた餅じゃなくて、後は具現化していくというのを竹内委員さんが言われたようなことかなと思うので、みんなでこういうものをPRしていけたらいいかなと私も感じました。ありがとうございます。

ほかに皆さんのほうから補足でも結構ですが、自分たちの課に関係するところがあったら、ここで一言言っておこうというのもいいと思いますが、いいですか〔「なし」と声あり〕。

それでは、ひとまず先に行きます。

④については図書館の選書ということで、9ページから今回も何百冊という、600冊以上の本の紹介をしていただいています、選書について何か御質問等はありませんか。補足なりありましたら。館長さん、どうぞ。

○図書館・歴史資料館長

年に1回ぐらいは蔵書の状況について御報告をさせていただきます。

今回つけている資料は先月4月に購入した本を600冊程度載せていますけれども、まず、昨年度、令和6年度1年間で新規に購入した本は6,493冊です。それ以外に郷土資料とかいろんな資料の寄贈を受けております。それが342冊。合わせて6,835冊が新しい本ということで図書館に配置をしています。

それに伴い、除籍と言いますけれども、廃棄した本が6,066冊。6,066冊は汚くなったり、いろんな意味で廃棄をしています。

昨年度3月31日現在の蔵書総数ですけれども、25万5,587冊の本を今、図書館に配置して

いるところでございます。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。そういう入れ替わりのことも含めまして、報告いただいて知るぐらいのもので非常に申し訳ないですが、新しい本をこれだけ購入いただいているということで、子どもたちも含めてPRをしていけたらと思います。

何かこのことでよろしいですか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、⑤の各課等からの行事報告ということで、25ページから教育総務課からございますが。補足等、または教育委員さんからは質問等ございましたら、お願いいたします。文化課長さん、どうぞ。

○文化課新文化交流拠点整備室長

31ページを御覧いただきたいと思います。

行事報告の中で5月14日のパブリックコメントの件、こちらの補足になります。

これまで教育委員会の中でも大ホールの整備方針の見直しについては御説明をさせていただいておりました。その中で大ホールについては当初、改修による長寿命化を計画しておりましたが、利用状況の変化や事業費の高騰、こういったところを踏まえまして、市民会議等により意見聴取を実施し、方針案のほうを廃止、解体というふうに取りまとめを行っております。

今回の方針案の変更に伴い、公共施設等個別施設計画について一部改定を行うこととなりまして、広く市民の皆様の御意見をいただくために、この計画の一部改定案につきまして、パブリックコメントを5月14日から6月12日まで実施するというところでございます。

以上です。

○教育長職務代理者

ことも未来課。

○こども未来課長

27ページを御覧ください。

子育て総合支援センターの報告がありますが、行事予定の中で5月24日土曜日、おひさまフェスタについてです。お手元にチラシを配付させていただいております。

5月24日、今度の土曜日になりますが、10時から12時までおひさまフェスタを開催いたします。

場所につきましては、子育て総合支援センターで行います。

内容としては、下のほうに丸で書いてありますが、外の駐車場のほうでは「はたらく車大集合」ということで、消防車、白バイとかが展示されます。また「親子で遊ぼう!」というところで、施設内で手作りの遊具等を準備しながら、コーナーを作っております。それと

「しあわせおゆずり」ということで、ベビー服等のお譲り会もする予定にしておりますので、もし可能でありましたら、教育委員さんの皆様も見学いただければと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。別紙パンフレットで御説明いただきました。

ほかに、図書館。

○図書館・歴史資料館長

図書館・歴史資料館から2点ほど。32ページを御覧いただきたいと思います。

行事報告で5月14日、指定管理者年度報告会ということで、昨年度1年分の図書館の運営につきまして、教育長さんに運営状況について御説明申し上げました。その結果を1枚、資料を皆さんのお手元に配付しているかと思います。武雄市図書館・歴史資料館利用状況等報告ということで数値を1枚にまとめておりまして、簡単に説明いたします。

まず、図書館の利用状況ということでは、来館者数につきましては、昨年度は89万1,767名ということで、若干前年度より伸びています。これは数字を見てもらえば分かるように、令和2年度からは新型コロナ関係でちょっと落ち込んでいましたけれども、今、徐々に回復してきております。また、図書館利用者数、そして図書館の貸出冊数ということで、ほぼ前年並みということで、これが1年間の利用者の状況でございます。

続きまして、図書館事業の実施状況ということで、主にイベント等とかブックスタート等の参加者数を載せております。定期的な講座とかイベント、それぞれの項目に分けて、開催回数と参加者数ということで、合計1,237回開催して、参加者数としては3万6,488名、回数につきましては昨年度より100件ほど減っています。今まではなるべくイベント等も開催したいということでやっていたか、今は中身を精査し、変更をかけながらやっているので若干減っていますが、たくさんの皆さんに御参加いただいたところです。

最後に、視察・見学等の受入状況ということで、行政視察については年間90件、学校等の団体見学、保育園等を含めまして41件、職場体験については15件の45名の皆様の受入れを行ったということで載せております。

それともう一つ、同じく32ページの今日の5月21日、最初の11時30分から「蘭学ってなあに？」ですが、武雄市図書館・歴史資料館の歴史資料館で行っています「蘭学ってなあに？」という企画展につきまして、初めて中学校のほうに遠隔授業ということで歴史資料館の企画展示室から中継をして授業を行いました。

これは図書館・歴史資料館と新しい学校づくり課と連携して初めて行いました。これまで、できるだけ企画展に学校から来てくださいとお願ひしていましたが、どうしても授業時間の確保とか移動の安全性等がありまして、学校見学数が少なかったんですけれども、今回、中学校3校とこういう形で行いました。今後いろんな形でこれを進めていけば、子どもたち

にいろんな歴史について知ってもらえる、歴史だけじゃなくて図書館の事業としても何か活用できないかなということで考えています。今回初めて行ったということで、新しい学校づくり課長さん何かありましたら。一生懸命、今日は設営をお願いいたしました。

○教育長職務代理者

はい、どうぞ。

○新しい学校づくり課長

リーディングDXスクールの取組の一つとして、この遠隔授業というのは初めてということで、私たちもサポートに入らせていただきました。もともとは歴史資料館さんと学校の社会科部会さんのほうでできないかという試みをされていますので、ちょっと私たちはサポートをさせていただいた状況です。

実際に私たちはチャットでやり取りを先生たちとしながらやっていたんですが、学校のほうから子どもたちが非常に一生懸命聞いていますということが流れてきまして、ほっとしたところです。

以上です。

○教育長職務代理者

武雄の先駆的な取組をさらに広げていっていただいているなと聞いておりますが、ありがたい取組だと思います。

A委員さん。

○A委員

事前にこども未来課さんのほうにお尋ねさせていただいたんですが、26ページの5月の行事報告でもあるように、笑顔コーディネーターの方の活動が非常に活発に行われていると感じた中で、4月の教育委員会資料においては笑顔コーディネーターの先生方が、中野先生と馬原先生、お二人しか記載がなく、ちょっと心配に思っておりました。

ただ、その後、子育て支援センターの副センター長の川久保さんだったり、支援センター所属の保健師さんが笑顔コーディネーターに就任され、また5月以降も一般公募で3名の方が笑顔コーディネーターの就任が決まったと伺っていますので、今後、様々な部分で私たちも連携を取っていくと思いますので、改めて笑顔コーディネーターの体制だったり、地域別分担とか専門分野とか、そこら辺の所属、連絡先を教えてくださいと思っています。

○教育長職務代理者

ここは別紙がありますが、こども未来課さんお願いします。

○こども未来課長

最初の笑顔コーディネーターの事業について、それと名簿について、その他のほうで思いましたが、今御質問いただきましたので、ここで御説明させていただきたいと思います。

お手元にカラー刷りで「こどもの笑顔コーディネーター」、こういった資料と、あと笑顔

コーディネーターの名簿のほうがあるかと思います。こちらのほうを御覧ください。

まず、カラーのほうから御説明いたします。

こどもの笑顔コーディネーターということで、昨年までは教職員のOBさん、それと保健師の方でこのコーディネーターをしていただいております。ただ、4月1日現在で欠員等がございまして、また、近年では様々な多様化するニーズもありますので、プラスして、右上のほうになりますが、保育士の資格を持たれている方、また社会福祉士の資格を持たれている方についても笑顔コーディネーターとして採用を行う方向で今年度は進めております。

中ほどに三角のところがありますが、このコーディネーターにつきましては黄色の「少し気になる子どもたち」というところ、赤のところは「支援が必要な子どもたち」、そこは専門の分野にお任せをするところですが、この黄色の「少し気になる子どもたち」というところを伴走型支援という形で笑顔コーディネーターによる支援を行うという内容になります。

昨年度まではこどもの貧困対策課がありましたが、今年度からこども未来課と一緒にしまして、こども未来課のみんなの笑顔係の中でこの業務を行うようになっております。

そして、下のほうに「こどもの笑顔コーディネーター」というところがありまして、子育て総合支援センターの中に今までは保健師だけでしたが、保育士の笑顔コーディネーターを配置しまして、センターにつきましては2名体制という状況になっております。

そして、もう一枚の名簿のほうになりますが、No.3、No.4、西村コーディネーター、松尾コーディネーターにつきましては、5月1日よりコーディネーターとして採用しております。西村コーディネーターについては社会福祉士の資格を持たれていまして、拠点校が御船が丘小学校になります。松尾コーディネーターにつきましては、教員免許を持たれており拠点校は朝日小学校です。

そして、No.5、括弧書きにしておりますが、安部コーディネーターにつきましては、保育士の資格を持っていらっしゃいます。ただ、括弧書きにしておりますのは、6月1日から採用、配置という形で今、計画しているところです。安部コーディネーターにつきましては拠点校が山内西小学校がとなり、今まで欠員がありましたが、これで6月1日以降は全ての拠点校で配置が完了します。また、右側にありますが、他校支援という形でも活動ができる状況になったということになります。

ただ、まだ初めてというところもありますので、コーディネーター間の会議等を実施し、連携、情報を共有しながら進めていきたいと考えております。

連絡先につきましては、拠点校にコーディネーターは配置になりますので、学校のほうが連絡先となります。

○教育長職務代理者

詳しく説明いただきました。よろしいですか。

○A委員

ありがとうございます。

○教育長職務代理者

C委員さん。

○C委員

今説明いただいて、私が聞き漏らしたのかも分かりませんが、今まで貧困対策課というのがあってこの事業をしてきたということだったんですが、この「少し気になる子どもたち」の「少し気になる」というのはどんな感じなんですか。

○教育長職務代理者

こども未来課長さんどうぞ。

○こども未来課長

いろんなパターンがあると思いますが、洋服とかがあまり変わっていないとか、寝不足だねとか、御飯を食べているのだろうかとか、通常といいますか、周りの子どもたちとちょっと違うところがあるよねというところですか。それが必ずしも貧困とつながるというところではないのも多いと思いますが、まず気になるところから、その子どもたちに伴走し、内容を聞きながら、これに関してはスクールカウンセラーのほうを担当ですよ、貧困のところになってくれば、そこからずっと中に深く入って伴走するという流れになっております。

○C委員

ありがとうございました。

○教育長職務代理者

よろしいですか。ありがとうございます。

ほかに関係課から補足説明等ございませんか。どうぞ、C委員さん。

○C委員

「蘭学ってなあに？」という展覧会を見に行かせてもらったんですが、非常に武雄の当時の最先端を知ることができてよかったなと思いました。

私も興味があって見せてもらったんですが、初めて見る絵があって、子どもたちが知っている出島の絵だとか、そういうのも出てきていましたし、それから、大砲の設計図もあって、コンパスの跡が残っていますというのもある、コンパスというのは子どもたちも知っている、みんなが知っている言葉が出てきたりとか、そういったもので非常に分かりやすいなと思ったところです。

小学校の6年生が長崎県修学旅行に行くときには出島に行ったりもしますので、そういったことの理解もあって中学校でそういうふう to 今日できて、子どもたちが興味関心を持って授業を受けたんだろうなと思いました。ぜひまたこういう企画をしていただきたいな。DXをつないで、見学に行くというのは確かにハードルが高いですが、映像で送ってもらったり、

説明をそこで聞いたりするというのが簡単にできると思うので、そういう窓口が広がれば、なおいいなと思いました。ありがとうございます。

○教育長職務代理者

はい、どうぞ。

○図書館・歴史資料館長

ありがとうございました。今、C委員さんがおっしゃったとおり、今回は特に子どもたちの目線で蘭学ということで、実際の企画展示室から歴史資料館の学芸員が出島の地図とか、出島のこととか大砲とか、天球儀、地球儀、やっぱりそういう興味がありそうなものを中心に説明しました。今回は年度初めの企画展が今週で終わってしまいますので、ちょっと期間がありませんけれども、本来だったら企画展が始まる、なるべく最初のほうで実施して、あと1か月ぐらいの間にまた見に行くとか、そういう形につなげていければなと思っています。まずは今回のことを検証しながら、ぜひ今おっしゃっていただいたように、いろんな形でつなげていければと思っています。

ありがとうございます。

○教育長職務代理者

補足説明等を含めてありがとうございます。

ほかにございませんか。

一つよろしいですか。先ほど文化課のほうでパブリックコメントの話がございました。ここ数年前からこの教育委員会でもずっと進捗じゃないけど、計画から出された折にも、私も一言申したこともございましたが、スポーツ施設等々の充実はなされてきて、文化施設もという、特に武雄の町なかでこれまで活用された方々は、パブリックコメントでもいろんな御質問があるという中で多分この話が進んでいくんだろうと思います。やはり文章を読んでいたら、佐賀とか鹿島とか、施設ができたというのも書いてあったんですが、それはちょっと武雄市からすれば、武雄市が文化の中心になるという思いからすれば、そういう書き方はどうかかなと思いながら読ませていただいたんですが、文化に関わってこられた方々はいろんな御質問をされるのは当然だとは思いますが。

今、造っておられる施設等の充実については、これまで以上に力を入れていくことも含めてしていかないと、結局、市のほうがいろいろ責められたりする事情が事情ですので、十分分かりつつも、担当の皆さんは大変だと思いますが、パブリックコメントも乗り切っていただければ、ちょっと老婆心の言葉になりましたが、申し上げたいと思いました。よろしくお願いします。

ほかに皆さん方のほうからなければ、時間も1時間たちましたので、少し進めてまいります。

なければ、次の開催日程につきましては梅雨時、雨も降っているか分かりません。6月25日水曜日15時、この4階会議室ということで予定されています。

その他、全てを含めまして何か御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。B委員さん、今日は何か一言いいですか。

OB委員

「これからの学校の話をしよう」というのがすごくいいなと思って、発達障害だったり、頭がいい子だったり、不登校だったりとか、それぞれ親御さんがいろんな悩みを抱えていらっしゃると思いますけれども、自分の子どものことで手いっぱいなので、よそのお子さんのことを理解する余裕はないんですよね。でも、やっぱり子どもはみんなかわいいから、親の目線で同じように、よそのお子さんのこういう状況とかを身近に感じたり、知ることができたら、もう少し優しくなれたり、協力できたり、お母さんたちの悩みとかも聞けるんじゃないかなと思って、すごくいいことだなと思いました。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。保護者という立場も含めて、教育委員さんのお言葉で今日の会を終わりたいと思います。

今日はちょっといつもより時間が長くなりまして、執行部の皆さん、お仕事がまだ残っておられると思いますが、以上をもちまして5月定例教育委員会を終わりたいと思います。御協力ありがとうございました。

午後4時20分 閉会